

# 敷地概要書

申請者の氏名	記載必須(申請書記載の申請者と同じ)
設計者(作成者)の氏名	}
設計者(作成者)住所	
設計者(作成者)の	

—所有権・借地権の別を記載

土地	土地の現況等	地 目				権利の内容	面 積		
		公簿	謄本どおり	現況	使用状況	公簿	登記面積 m <sup>2</sup>	実測	実測面積 m <sup>2</sup>
地盤の改良等の (令第三十六條第一項 第一号ロ関係)	地盤の改良、擁壁の 設置等安全上の必要 な措置の要否	土地の現況	地盤の軟弱な土地		がけずれ又は出水 のおそれの多い土地	その他左記に類する土地 (災害危険区域・急傾斜地崩壊危険区域等)			
		上記土地に 対する安全 上必要な措 置の方法	軟弱地盤のため、擁壁の 設置にあたり地盤処理を 必要とする場合等に、そ の措置内容を記載する。						
		必要としない地盤の状況		土地の現況を記載する(例えば、「平坦地・砂礫層で堅固」など)。この場合、上欄については斜線を記載する。					
下水の排出等 (令第三十六條第一項 第一号イ関係)	下水の処理方法	汚水	合併処理浄化槽(人槽)で処理後、 に放流			雨水	集水桝で集水し、 に放流		
	排水施設の規模・構造	名称及び 規模	設置する管、桝、側溝などについて、その延長と個数を、汚水 系統と雨水系統に分けて記載する。			構造	設置する管、桝、側溝などについて、その構造を、汚水系統 と雨水系統に分けて記載する。		
	放流先の状況・名称・管理者	放流先の状況 (放流先までの距離)		放流先の構造と距離を記載 (例：三面コンクリート水路) ( m )		名称	普通河川、準用河川、 市道 地区 号線道路側溝等	管理者	河川・道路 の管理者名
	許可(承認)等 手続の概要・経緯	汚水排水や雨水排水を河川や道路側溝などの公共施設に排出するにあたって、公共施設に対する工事施行が必要な場合、公共施設を占有する場合は、河川 占有許可・河川工事承認・道路占有許可・道路工事承認などの手続が必要になる。これらについて許可(承認)申請を行い、その申請日を記載する。							
接続道路 (建築基準法 第四十三條関係)	建築基準法第42条該当号	第1項 該当号	1号 2号 3号 4号 5号				名称及び 該当するもの 位置の指定年月日等		市道 地区 号線(建設管理課で確認) 年月日第 号(建築住宅課で確認)
		第2項該当	該当号に 第1項に該当しない場合		必要な道路の 後退線の距離		(ア) 道路後退が必要な場合に記載 道路の中心線から m		(イ) がけ等の境界線から m
接続する位置、道路の幅員、 管理者	敷地が接続する位置 (路地状敷地の路地の長さ)		敷地の ( m )		側 路地状敷地の場合に記入 (路地状敷地の路地の幅員)		幅員 ( m )	管理者	当該道路の 管理者名
許可(承認)等 手続の概要・経緯	前面道路と敷地との間に河川があり、床板橋等を設置する必要がある場合には、河川占有許可・道路工事承認などの手続が必要になる。 これらについて、許可(承認)申請を行い、その申請日を記載する。								
その他	他の法令等による許認可の有 無及び手続の概要・経緯 (河川・道路の関係を除く)		(排水関係) (接道関係)以外の許認可事項の必要の有無、必要な場合は許可(承認)申請を行い、許可(承認)申請の種類と、その申請日を記載する。 例：農地法第5条転用許可申請中(平成 年 月 日)						